

令和2年度学校評価(後期)結果について

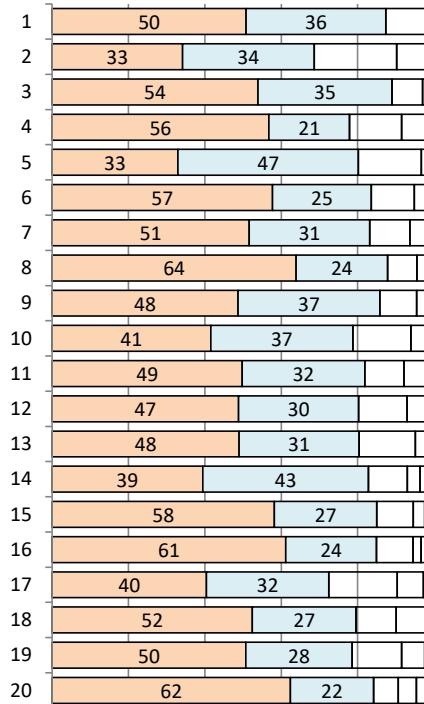
平素より本校の教育にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。学校評価にたくさんの方からご回答をいただき、ありがとうございます。アンケートの結果とともに分析結果についてご報告します。
自由記述欄に書いていただいたことについては、真摯に受け止めさせていただきます。ありがとうございました。

学校教育目標	「自分の良さを生かし、夢に向かって、挑戦し続ける子どもの育成」～ひとりひとりが力を合わせ 明るくたくましく伸びていく新林の子ども～
後期の重点目標	◎自分の良いところを知り、自信をもって行動する。 ◎あきらめずに最後までやりきる。 ◎家庭学習と学習の準備をしっかりととする。

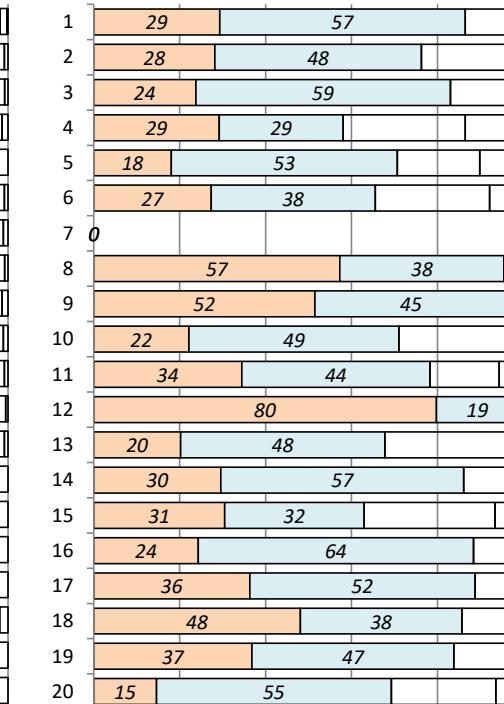
令和3年 3月
新林小学校 校長 水田 真吾

質問項目	
①	学校の勉強はわかりますか
②	自分の意見や考えを話すことができていますか
③	人の意見や考えをしっかりきくことができていますか
④	進んで本を読むことができていますか
⑤	毎日、忘れ物をせずに、学習の準備をすることができていますか
⑥	毎日、家庭学習をすることができていますか
⑦	授業や学校生活の中でがんばったことを先生はほめてくれますか
⑧	学校に楽しくかようことができていますか
⑨	学校では先生や友だちから大切にされていると思いますか
⑩	地域の人、先生たち、友だちに進んで気持ちのよいあいさつができていますか
⑪	早寝・早起きをしたり、朝ごはんをきちんと食べたりしていますか
⑫	自分にはよいところがあると思いますか
⑬	むずかしいことでもいっぱいをおそれないでちょうどせんしていますか
⑭	学校のきまりややくそくを守ることができますか
⑮	自分から進んでそうじや係活動(委員会活動)ができますか
⑯	学校からのおたよりをお家の人に見せていますか
⑰	わからないことや困っていることを先生に相談することができますか
⑱	お家の人に学校でのできごとを話していますか
⑲	おうちの人やちいきの人からほめられることがありますか
⑳	ちいきの人との交流やゲストティーチャーとの交流、PTAぎょうじを楽しみにしていますか

児童



保護者・学校運営協議会



そう思う	大体そう思う	あまり	思わない	空白わからない					
児童	大人	児童	大人	児童	大人	児童	大人	児童	大人
①	50	29	36	57	10	10	2	1	0
②	33	28	34	48	21	20	9	3	1
③	54	24	35	59	8	15	2	1	1
④	56	29	21	29	13	28	7	12	2
⑤	33	18	47	53	16	19	3	9	0
⑥	57	27	25	38	11	27	4	6	1
⑦	51		31		10		5		1
⑧	64	57	24	38	8	3	4	1	1
⑨	48	52	37	45	10	3	3	0	2
⑩	41	22	37	49	15	27	5	1	2
⑪	49	34	32	44	10	16	7	4	1
⑫	47	80	30	19	12	0	6	0	1
⑬	48	20	31	48	14	28	4	3	1
⑭	39	30	43	57	10	11	3	2	1
⑮	58	31	27	32	10	31	3	6	0
⑯	61	24	24	64	10	8	2	0	3
⑰	40	36	32	52	18	8	7	0	3
⑱	52	48	27	38	10	11	8	0	2
⑲	50	37	28	47	13	12	6	0	2
⑳	62	15	22	55	6	24	5	3	5

*四捨五入のため、合計が100%にならない項目があります。

「確かな学力」(アンケート番号①～⑦)

「豊かな心・健やかな体」(アンケート番号⑧～⑯)

「学校・家庭・地域との連携」(アンケート番号⑰～㉚)

今回のアンケート結果から、以下のことについて取り組んでいきたいと思います。

① 基礎的・基本的な知識・技能の定着
☆アンケート①の「学校の勉強はわかりますか」で86%の児童が「わかる・大体わかる」と答えています。冬休み明けに実施した漢字・算数大会の結果をみると、以前よりも平均点が上がり、賞状を受け取る児童も増えてきました。授業の中で「できた」「わかった」と実感できるように指導の工夫をしていきます。

② 話す・聞く力の向上
☆アンケート②の「自分の意見や考えを話すことができているか」の項目で、「できる・大体できる」が67%でした。また、アンケート③の「人の意見や考えをしっかりきくことができているか」の項目では、「できる・大体できる」が89%でした。以前から話すことに対する自信がもてない傾向にあるので、自分の考えを話す経験を増やしていきます。

③ 家庭学習の習慣化
☆アンケート⑥の「毎日、家庭学習をすることができているか」の項目で、「できる・大体できる」が82%となり、前期よりも2ポイント下がりました。家庭学習の習慣が身についている児童も多いようですが、保護者のアンケートを見ると低くなっていますので、保護者の声かけで家庭学習をしている状況があるようです。自主的に学習できるような内容ややり方を示していきます。

今回のアンケート結果や、1月の実施したさわやか週間の結果から、以下のことについて取り組んでいきたいと思います。

① 自己肯定感の育成
☆アンケート⑫の「自分にはよいところがあると思うか」の項目は、児童が7ポイント高くなりました。保護者も4ポイント高くなり99%の方が「そう思う・大体そう思う」と答えています。学校でも家庭でも児童のよいところを認めて声をかけてきた成果だと考えます。引き続き、児童自身が自分のよいところは○○だと自信がもてるような取組を進めています。

② 自己効力感の育成
☆アンケート⑬の「難しいことでも失敗をおそれないで挑戦しているか」の項目は、児童の79%が「挑戦している・大体挑戦している」と答えています。学習も進んでいき、新たなことに取り組むことも増えてきていますので、機会あるごとにあきらめずに粘り強く取り組むことの大切さや明るく生きるコツを伝えていきたいと思います。

③ 楽しい学校
☆アンケート⑧の「学校に楽しく通うことができているか」の項目は、児童の88%が「そう思う・大体そう思う」と答えており、前期よりも7ポイント高くなりました。自分のよさが發揮でき、認められるような楽しい授業、楽しい活動ができるように工夫してきた成果が表れています。引き続き、授業や活動の工夫をしていきます。

④ 基本的生活習慣の確立
☆アンケート⑪の項目を見ると、81%の児童は早寝・早起き・朝ご飯ができると答えています。寒くなり起きづらくなっていますが、元気に活動するために朝食をとって登校できるようにご協力よろしくお願いします。

☆あいさつについては、児童の78%が「できている・大体できている」と答えており、前期よりも5ポイント高くなっています。地域の方々、保護者